

2022年度第3回東京競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 稲城特別

稲城（いなぎ）は、東京都多摩地域にある市。北側を流れる多摩川と平行して、南側には多摩丘陵がある。中央部には三沢川が流れ、市を北西部と南東部に二分している。特産品として、梨やぶどうが有名。また、多摩川サイクリングロードや南多摩尾根道路などの自転車を楽しめる場所が豊富にあるため、市内外から多くのサイクリストが訪れる。

○ 由比ヶ浜特別

由比ヶ浜（ゆいがはま）は、神奈川県鎌倉市南部の相模湾に面する海岸。同市を流れる滑川河口の西側の海岸とその周辺を由比ヶ浜、東側を材木座海岸と言う。海水浴場として有名で、夏には多くの海水浴客で賑わう。

○ アハルテケステークス

アハルテケ（Akhal - Teke）は、トルクメニスタンが原産の馬の品種で、別名「黄金の馬」と呼ばれている。

なお、京王電鉄競馬場線「府中競馬正門前駅」の入口には同馬の銅像が建てられている。

<第2日>

○ ホンコンジョッキークラブトロフィー

ホンコンジョッキークラブは、1884年に創設された競馬統括団体。ナイター競馬で有名なハッピーバレー競馬場と香港郊外にあるシャティン競馬場の2ヶ所で競馬が実施されており、4月の「チャンピオンズデー」、12月の「香港国際競走」には、例年多数の日本馬が参戦している。

○ 麦秋ステークス

麦秋（ばくしゅう）は、麦が熟する時期のこと。初夏の頃を指す。早熟の麦は晩春から黄熟するが、一般的に立春から数えて120日前後の5月下旬頃が麦の収穫時期とされている。

○ 安田伊左衛門生誕150周年記念農林水産省賞典安田記念（G I）

本競走は、安田伊左衛門生誕150周年を記念して実施される。

『安田記念』は、昭和26年に『安田賞』として創設された重賞競走。競馬法制定や『東京優駿（日本ダービー）』の創設などに尽力した、日本中央競馬会の初代理事長である安田伊左衛門氏に由来する。33年、同氏の死去ののち『安田記念』に改称され、59年にG I競走として格付けされた。春のマイラーのチャンピオンを決める一戦として、秋の『マイルチャンピオンシップ』と並び大きな目標となっている。

○ 小金井特別

小金井（こがねい）は、東京都中央部の市。市の北側にある小金井公園は、都内屈指の桜の名所として有名。

<第3日>

○ 青梅特別

青梅（おうめ）は、東京都北西部、多摩川の中流域の市。江戸時代には甲州街道の裏街道として知られる青梅街道の宿駅が置かれた。青梅マラソンが行われることでも有名。

○ 芦ノ湖特別

芦ノ湖（あしのこ）は、神奈川県南西部にある箱根火山のカルデラ湖。富士箱根伊豆国立公園に属している。湖畔からは富士山を望めることから、季節を問わず多くの観光客が訪れている。また近年では、「東京箱根間往復大学駅伝競走」の往路ゴール地点、復路スタート地点としても有名。

○ ジューステークス

ジューン（June）は、6月を意味する英語。結婚を司るローマ神話の女神ジュノーに由来する。

<第4日>

○ 八王子特別

八王子（はちおうじ）は、東京都の南西部の市。地形はおおむね盆地状で、北・西・南は海拔200mから800mほどの丘陵地帯に囲まれ、東は関東平野に続いている。2015年に中核市に指定されており、全国有数の学園都市としても有名。

○ 夏至ステークス

夏至（げし）は、中国や日本の太陽暦の二十四節気のひとつ。太陽が黄道上最も北を通過する時刻で、これを含む日が夏至の日である。

○ エリザベス女王即位70年記念エプソムカップ（GⅢ）

本競走は、エリザベス女王即位70年を記念して実施される。

『エプソムカップ』は、イギリスのエプソム競馬場との交換競走として創設された重賞競走。昭和58年に『東京優駿（日本ダービー）』が50回を迎えたことを機に東京競馬場と『英国ダービー』を開催するエプソム競馬場が姉妹競馬場として提携し、その翌年の59年から実施されている。創設以来、ハンデキャップ戦として実施されてきたが、平成8年から別定重量戦に変更され現在に至る。

エプソム競馬場は、ロンドンから南に約30kmのサリー州エプソムダウンズにある競馬場。同競馬場では、『英国ダービー』、『英国オークス』、『コロネーションカップ』などが実施されている。

<第5日>

○ 三浦特別

三浦（みうら）は、神奈川県南東部、三浦半島最南端の市。市の西側は相模湾、東側は浦賀水道、南側は太平洋に面している。市内にある三崎漁港は遠洋漁業の拠点となっており、日本有数のマグロの水揚げ量を誇る。

○ 相模湖特別

相模湖（さがみこ）は、神奈川県相模原市にある湖で、昭和22年に完成した相模ダムによって、相模川が堰き止められてできた人造湖。遊覧船や足漕ぎボートなどが浮かび、人気の観光地となっている。

○ スレイプニルステークス

スレイプニル（Sleipnir）は、北欧神話に登場する神獣のひとつ。主神オーディンが騎乗する軍馬で、灰色の毛並みと8本の脚を持つ。陸海空を駆け巡ることができ、神話詩の一編『グリームニルの歌』の中では最も速い馬と評されている。

<第6日>

○ 町田特別

町田(まちだ)は、東京都南部の市。古くから横浜に向かう街道は「絹の道」とも呼ばれ、交通の要衝・商都として繁栄してきた。多摩ニュータウンとの間にある北部丘陵には、町田市の原風景を残す豊かな自然が広がっている。

○ 多摩川ステークス

多摩川(たまがわ)は、関東平野の南部を流れる川。中流域では東京競馬場の南側を流れ、下流部は東京都と神奈川県の間をなす。

○ ユニコーンステークス (GⅢ)

本競走は、平成8年に創設された重賞競走。ダート適性馬の年間を通じた出走機会の確保を目的に、3歳馬による初のダート重賞競走として創設された。当初は秋の中山競馬場で1800mの定量戦として実施されてきたが、13年に6月東京競馬場に舞台を移し、1600mの別定重量戦で実施されるようになった。

ユニコーン(Unicorn)は、ヨーロッパの伝説上の動物。馬の体をしており、ねじれた一本の角を持つ。神聖な力と純潔の象徴とされ、その角には邪気を払い、いかなる病気も治す力があると信じられていた。

<第7日>

○ 東京ジャンプステークス (J・GⅢ)

本競走は、平成11年に創設された障害重賞競走。『中山大障害』、『京都大障害』に次いで昭和31年に創設された『東京障害特別(秋)』が前身で、当初は『東京オータムジャンプ』という名称で実施されていた。平成21年より実施時期を10月から6月に移し、競走名を改称して実施されている。

○ 清里特別

清里(きよさと)は、山梨県北杜市を中心とした八ヶ岳南東麓に広がる高原。夏は避暑地、冬はスキーなどのリゾート地として有名。また、高原野菜栽培と酪農が盛ん。

○ 日野特別

日野(ひの)は、東京都中央部の市。多摩川の南岸にあり、古くは甲州街道の宿場町として栄えた。現在は、自動車工業が盛んで、住宅地としても発展している。また、多摩動物公園や高幡不動尊があることでも知られている。

○ 江の島ステーキス

江の島（えのしま）は、神奈川県藤沢市、片瀬川河口にある周囲約 4km の陸繋島。島内には海食台地である稚児ヶ淵や江島神社など多くの観光スポットがある。また、生たこをそのままプレスしたたこせんべいやしらす料理が有名。

<第8日>

○ ハヶ岳特別

ハヶ岳（やつがたけ）は、長野県東部から山梨県北部にまたがる南北約 20km の大開析火山。最高峰は標高 2,899m の赤岳。山腹と裾野は草原で、清里高原、野辺山高原などが広がり、高冷地野菜の栽培、牧場などに利用されている。

○ 甲州街道ステーキス

甲州街道（こうしゅうかいどう）は、日本橋を起点に甲府を経て下諏訪へとつながる約 210km の道。江戸幕府によって整備された五街道のひとつで、東京競馬場のある府中市は宿場町として栄えた。武田信玄や新選組にまつわる寺社を随所に見ることができる。

○ ウッドバイン競馬場賞パラダイスステーキス（L）

本競走は、ウッドバイン競馬場との間で実施される交換競走。

ウッドバイン競馬場はカナダのトロント郊外に位置する競馬場。同競馬場では、『カナディアンインターナショナル』などカナダの主要競走の多くが実施されている。

パラダイス（Paradise）は、「天国」「極楽」を意味する英語。